

# 1/2 内視鏡 EB-710XT 準備と点検

重要：このクイックリファレンスガイド (QRG) では、内視鏡 EB-710XT の準備と点検に必要な手順の簡単な概要を説明します。  
詳しい手順については、取扱説明書 (操作編) を参照してください。

**警告**：点検で故障が見つかった場合は、使用を中止して営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

**警告**：すべての手順を実行する必要がありますが、赤枠で囲まれた手順が非常に重要です。

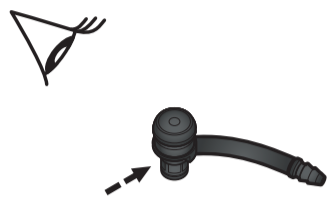


## A. 関連機器を準備する

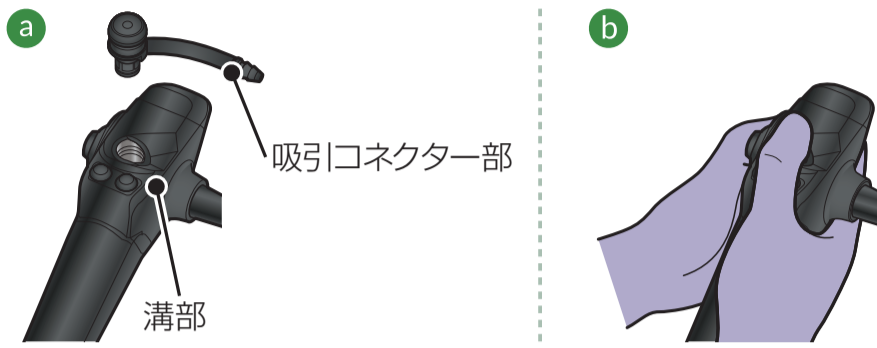
## B. 吸引ボタンを取り付ける



内視鏡、吸引ボタン、鉗子栓を準備し、運搬します。

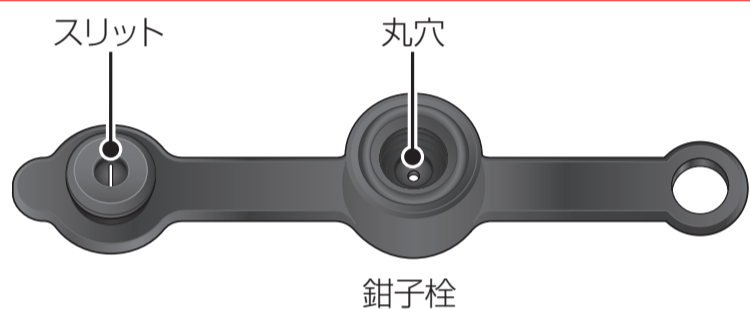


吸引ボタンに損傷がないことを確認します。

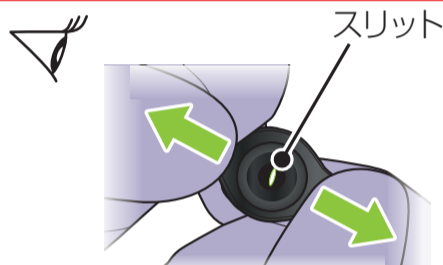


- a 吸引シリンダーの溝部と吸引ボタンの吸引コネクタ部の向きを合わせます。
- b 突き当たる位置まで吸引ボタンを両手で押し込みます。

## C. 鉗子栓を点検する



鉗子栓



スリットと丸穴に損傷がないことを確認します。



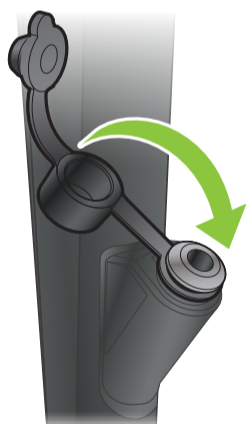
**警告**：鉗子栓は、使用する前にリプロセスを行ってください。リプロセスが不適切な鉗子栓を使用した場合、感染の原因となるおそれがあります。  
吸引ボタンと鉗子栓は、再使用禁止の製品です。使用後は廃棄してください。廃棄せず再使用すると、感染の原因となるおそれがあります。

## D. 鉗子栓を取り付ける

### FOV-BU1



a リングの部分を鉗子口に引っ掛けます。

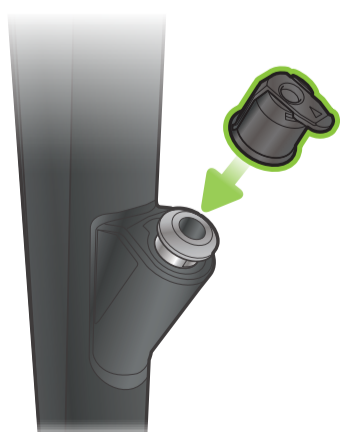


b 鉗子栓本体をかぶせます。



c フタを閉めます。

### FV-003 (別売品)



鉗子栓に損傷がないことを確認し、取り付けます。



## E. 内視鏡と光源装置および関連機器を接続する

**a** スコープコネクタに水分や異物がないことを確認します。

**b** スコープコネクタを光源装置に接続します。

**c** 吸引チューブを取り付けます。

## F. 先端部を点検する

先端部、わん曲部（両端の樹脂含む）に損傷や異物がないことを確認します。

## G. 軟性部を点検する

**a** 目視確認

**b** 曲げ確認

**a** 挿入部に異常がないことを目視で確認します。

**b** 位置を数回ずらしながら、軟性部を曲げて直径 200mm の半円をつくり、十分に曲がることを確認します。

0 100 mm 200 mm

## H. わん曲操作を点検する

アングルレバーを操作し、わん曲部が上下に動くことを確認します。

## I. 挿入部回転機構を点検する

**a** 軟性部をまっすぐにします。

**b** 回転リングがスムーズに回転することを確認します。

**c** 回転リングの突起部と操作部の指標部を合わせます。

## J. 内視鏡の機能を点検する

光源装置の電源を入れます。

プロセッサの電源を入れます。

吸引ボタンを押す

滅菌水

止まる

光源装置のライトを点けます。

対物レンズを手のひらに向けてモニターで画像を確認します。

- 吸引ボタンを押し込みます。
- 滅菌水が吸引されることを確認します。
- 吸引ボタンから指を離します。
- 吸引が止まることを確認します。

**注意** 吸引圧は、40 ~ 53kPa に設定してください。吸引圧が高すぎると、内視鏡が吸着して、粘膜が損傷するおそれがあります。  
 レンズを点検する時は、光源のライトを消してください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。